

特定非営利活動法人ジェネリック医薬品協議会

2020（令和2）年度通常総会議案書

- 日時 2020年5月21日(木) 13時00分～14時00分
 - ・表決受付期限：2020年5月20日(水)23時59分まで
 - ・議長および議事録署名人による審議結果の確認：
2020年5月21日(木) 13時00分～14時00分

- 場所 当会連絡所
(書面, ファクシミリのほか, 電磁的方法による表決または表決の委任の受付場所)

- 次第
 1. 本総会議事の進め方について
 2. 議長選出
 3. 成立状況の確認
 4. 議事録署名人の選任
 5. 議案審議
 - 議案1 2019年度事業報告・決算・監査報告
 - 議案2 2020年度事業計画・予算
 - 議案3 組織と運営のあり方について
 - 議案4 次年度総会開催日

【別紙一覧】

- 医療セミナー関連
 - ① 第31回エニグマ症例検討会
 - ② 第32回エニグマ症例検討会
- 2019年度決算関連
 - 活動計算書
 - 貸借対照表
 - 財産目録
 - 予算実績対比表
- 2019年度監査関連
 - 監査報告書
- 2020年度予算関連
 - 2020年度予算

1. 本総会議事の進め方について

本総会は新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、集合せずに定款の第 28 条 2 項および 3 項に定めている書面、ファクシミリのほか、電磁的方法による表決により決議することとした。正会員は各々書面、ファクシミリまたは電子メールを使用して表決または表決を委任し、決議は正会員全員の同意を得てなされる。

表決は 2020 年 5 月 20 日までに太田進専務理事が集約し、翌 5 月 21 日に議長に報告する。報告を受けた議長は議事録署名人とともに同日これを精査して決議の可否を確認し、議事録を作成したうえで正会員全員に電子メールにて確認内容を報告する。

なお議長選出と議事録署名人の選任は、集合による総会では議場にて立候補・推薦を得て決められるが、本会議は電磁的方法のため執行理事会の提案を受けた理事会にて候補者を決定して提案することとした。

2. 議長選出

渡邊善照理事長を議長とする。

3. 成立状況の確認

2020 年 5 月 21 日に太田進専務理事が議長に報告する。

4. 議事録署名人の選任

石川康成執行理事と戸島洋一執行理事を議事録署名人とする。

5. 議案審議

議案 1 2019 年度事業報告・決算・監査報告

1. 会員

● 会員数

	<u>正会員(個人)</u>	<u>賛助会員</u>
2018 年期末	21	10
2018 年期末退会	2	0
2019 年期首	19	10
2019 年期入会	0	0
2019 年期退会	1	2
2019 年期末	18	8

● 会費納入状況

未納無し

2. 事業報告

(1) 全体

1) 会議

- 通常総会 2019 年 5 月 30 日開催
- 執行理事会 6 回開催

2) 活動の基本方針

ジェネリック普及率 80%に近づきつつある状況で、NPO 法人としての GEDA にふさわしい活動を展開していく。

(2) 委員会

1) ジェネリック医薬品品質・情報委員会(戸島洋一委員長)

2019 年度は厚生労働省が開催する「ジェネリック医薬品品質情報検討会」に渡邊理事長が出席され意見具申を行った。

2) 医療セミナー委員会(福生吉裕委員長)【別紙①②参照】

2019 年度も下記のごとく年に二回医療セミナー(エニグマ症例検討会)を行った。総合診療医の臨床能力アップに効果があったと考えられる。これらの医療セミナーで研修医におけるジェネリック医薬品の使用にも大変前向きな姿勢が涵

養された。

第 31 回 厚生中央病院 2019 年 9 月 20 日

第 32 回 日本医科大学 同窓会館 2020 年 2 月 7 日

3) GEDA 表彰委員会(福生吉裕委員長)

2019 年は執行理事会で取組みを検討したが、すでに 80%近くに達した普及状況から顕著な貢献者を見出すのは困難と判断し、表彰委員会への選考依頼は見送ることとした。

4) 広報委員会(太田進委員長代行)

● ホームページ

◇ 新規記事掲載:7 件

● 出版

◇ 2019 年 5 月 30 日の GEDA パネルディスカッション 2019「ジェネリック医薬品とフォーミュラー:地域フォーミュラー推進に向けて」の講演と総合討論の記録を収載した「GEDA 年報 2019」を発行し、会内外に配布した。

● ニュースリリース

◇ 「ジェネリック医薬品の日」のニュースリリースを行った。

5) 会員増強対策委員会(太田進委員長)

新規会員獲得には至らなかった。

6) 公開講座委員会(中田素生委員長)

2019 年度から中田理事が委員長となった。実施あるいは計画した活動は以下のとおり。

● 中田理事による東海地方での活動

◇ 薬剤師会講演

- 実施: 3
- 延期: 1
- 予定: 1

【実施】

三重県四日市市薬剤師会: 2019 年 8 月 29 日 19 時~20 時半

参加人数:約 80 人

演題:高齢者の服薬指導に関して

名古屋市昭和区薬剤師会: 2019 年 11 月 15 日 21 時~23 時

参加人数:約 80 人

演題:高齢者が解る服薬指導に関して

名古屋市北区薬剤師会: 2019 年 12 月 14 日 14 時~15 時 30 分

参加人数:約50人

演題:高齢者が解る服薬指導に関して

【延期】

静岡県静岡市清水区薬剤師会: 2020年4月16日 19時~21時

参加人数:約50人(予定)

演題:高齢者が解る服薬指導に関して

【予定】

静岡県静岡市清水区薬剤師会: 2020年7月11日

● 市民公開講座

GEDAは2019年10月5日に仙台で開催された日本薬剤学会主催の公開市民講演会を後援し、渡邊理事長が講演を行った。

(3)ジェネリック医薬品の日の取組み

「ジェネリック医薬品の日」記念日の登録までの経過は以下のとおり。

- 「ジェネリック医薬品の日」創設の提案が2018年12月の執行理事会で発議された。
- GEDA 会員, 関連団体(GEBS 学会, ジェネリック製薬協会, 日本薬剤師会)との協議を重ね, 12月22日をジェネリック医薬品の日として登録申請することを内定した。
- 2019年5月30日のGEDA総会にて12月22日を記念日として登録申請することが承認された。
- 2019年10月29日に日本記念日協会にて記念日として登録される。

(4)その他

1) 高齢者向け説明のあり方検討

GEDA内のワーキンググループは立上げを検討したが、実現には至らなかった。

2) パネルディスカッション

2019年5月30日にGEDA主催のパネルディスカッションを開催し、後日「GEDA年報2019」に記録を掲載し会内外に配布した。

- ◇ テーマ: ジェネリック医薬品とフォーミュラリー/地域フォーミュラリー推進に向けて
- ◇ 2019年5月30日 東京都千代田区・学士会館
- ◇ パネリスト(敬称略, 冒頭発言順):

神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科教授 坂巻弘之
地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネット代表理事 栗谷義樹
医療法人社団青葉会新座病院薬剤科主任 金井紀仁
全国健康保険協会静岡支部企画総務グループグループ長 名波直治

3) 外部問合せ対応

- 電話 2 件： 一般 1 調剤薬局勤務薬剤師 1
- 内容：
 - 一般： カロナールの副作用についての体験
 - 調剤薬局勤務薬剤師： ジェネリックの処方箋の書き方について
- GEDA の認知経路： 不明 2 件

3. 決算

【別紙参照】 活動計算書

貸借対照表

財産目録

予算実績対比表

1. 収益

会費徴収合計額は本年度予算どおりとなった。ただし賛助会員は 2019 年期初に 10 社あり、その 2019 年会費は 3 社分(60 万円)が 2018 年会計に計上され、残り 7 社分 140 万円が 2019 年予算となった。しかしそのうち 1 社は 2019 年期初退会扱いのため会費は徴収しなかった。一方 2020 年分会費の 2019 年期中入金がある 1 社あり、これを 2019 年会計に計上したため、結果的に予算どおりになった。

正会員：19 名	95,000 円
賛助会員：7 社	<u>1,400,000 円</u>
合計	1,495,000 円

2. 費用

【経常費用】

(1) 事業

① ジェネリック医薬品の普及、およびその研究成果の啓蒙・宣伝・研修・振興等

予算：	327,000 円
実績：	<u>200,670 円</u>
予実差	126,330 円（予算残）

- 予算では該当者なしで実施を見送った GEDA 表彰の懸賞費 10 万円を、ジェネリック医薬品の日の記念企画に備えて予備費に回したが、本年度は実施されず未使用となった。
- 自主企画が無くそのための謝金、印刷製本、会議への支出が無かった。
- ジェネリック医薬品の日登録に向けて、仙台在住の理事長がジェネリック医薬品・バイオシミラー学会とジェネリック製薬協会との会合に参加するために旅費交通費が超過した。

② ジェネリック医薬品に関する国・自治体・関係 諸機関への提言活動等

予算：	726,000 円
実績：	<u>650,946 円</u>
予実差	75,054 円（予算残）

- GEBS 学会の会費支払時期のずれや、それ以外の会費支出が無かったため諸会費

支出が少なかった。

- GEDA 主催イベントで謝礼を必要とする外部講師の数が少なかった。
- 活動に必要な会議が無かった。
- ホームページ以外での広報宣伝は行わなかった。

③ その他

予算：	0 円
実績：	<u>9,400 円</u>
予実差	9,400 円（予算超過）

- 上記二つの事業分類に区分けしない旅費交通費を支出計上した。

(2) 管理

予算：	1,417,000 円
実績：	<u>1,400,687 円</u>
予実差	16,313 円（予算残）

- 会議以外に使用する印刷物が少なく、印刷製本と通信運搬の費用が少なかった。
- 交際接待費を必要とする渉外活動が無かった。
- 事務用物品は消耗品の範囲のもののみだった。
- 執行理事会の回数が増えて旅費交通費は増えた。

(3) 全体として

予算：	2,470,000 円
実績：	<u>2,261,703 円</u>
予実差	208,297 円（予算残）

- GEDA 表彰をはじめ自主的企画の活動が計画よりも減ったことなどにより事業のための支出が抑えられ、管理費用も若干の予算残があり総費用の予算残が 20 万円超となった。

【経常外費用】

予算：	162,000 円
実績：	<u>165,000 円</u>
予実差	3,000 円（予算超過）

- ジェネリック医薬品の日登録費用を計上した。消費増税分の予算超過。

4. 監査報告

【別紙参照】監査報告書

議案 2 2020 年度事業計画・予算

1. 会員数（期首）

<u>正会員(個人)</u>	<u>賛助会員</u>
18	8

2. 事業計画

(1) 全体

1) 会議

- 通常総会 2020 年 5 月 21 日開催
- 執行理事会 4～5 回開催

2) 活動の基本方針

ジェネリック普及率 80%に近づきつつある状況で、NPO 法人としての GEDA にふさわしい活動を展開していく。

(2) 委員会

1) ジェネリック医薬品品質・情報委員会(戸島洋一委員長)

2020 年度は「ジェネリック医薬品品質情報検討会」に引き続き渡邊理事長に出席いただき、必要な意見具申を行っていただくとともに、これらの品質情報につき会員、医療関係者、患者ら広くに周知できるような方策を検討する。

2) 医療セミナー委員会(福生吉裕委員長)

2020 年度も年二回、しかるべき秋と冬に研修医、総合診療医を対象にした医療セミナーを計画している。

3) GEDA 表彰委員会(福生吉裕委員長)

活動は休止し、その原資を 2019 年 10 月に記念日登録したジェネリック医薬品の日の取組みに充てる。

4) 広報委員会(太田進委員長代行)

● ホームページ

内容充実のための方策を検討する。

● 出版

GEDA 年報 2020 を発行し、GEDA 主催イベントの記録や会員寄稿などを掲載する。

● ジェネリック医薬品の日のための広報活動

ニュースリリースなど適宜効果的な広報活動を行う。

5) 会員増強対策委員会(太田進委員長)

各委員会等の活動やジェネリック医薬品の日の取り組みなどを通じて GEDA を積極的にアピールする。

6) 公開講座委員会(中田素生委員長)

前年度に引き続き東海地方での講演活動に取り組む。ジェネリック医薬品の日の記念企画に公開講座を組み込むことを検討する。

(3)ジェネリック医薬品の日の取り組み

記念日に向けての活動を行うために、外部関係者も組み込んだ準備企画委員会(仮称)を設置する。この委員会の構成および GEDA としての参画は執行理事会がその責を負う。

3. 予算

【別紙参照】 2020 年度予算

(1) 収益

新規入会が無ければ前年度からの会員減(正会員と賛助会員各1)により 205,000 円の減収となる。

2020 年期初の会員数による会費総額は以下のとおり。

正会員	18 名 (9 万円)
賛助会員	8 社 (160 万円)
総額	169 万円

(2) 費用

新規入会を得るのが難しい中、収益減に見合った支出が求められる。

前年度の経常費用実績は以下のとおり。

事業費	861,016 円
管理費	1,400,687 円
総額	2,261,703 円

これは今年度の会費総額に対して 57 万円余り超過しており、この超過額は前年度経常費用総額の約 25%に相当する。

今年度において上記超過分相当の費用削減(25%減)を目指すと予算は概ね以下のようなになる。

事業費	64 万円
-----	-------

管理費	105 万円
総額	169 万円

一方前年度実績と今年度の変動要素を考慮したほぼ確定的な費用は概ね総額 200 万円となる。その内訳は以下のとおり。

管理費	112 万円 (前年実績の約 80%)
地代家賃	60 万円
旅費交通費	24 万円
会議費	10 万円 (総会関連の約 35 万円を除く)
広報宣伝	7 万円
印刷製本	5 万円
通信運搬	4 万円
消耗品	2 万円

※総会の電磁的方法による開催と記念イベントの中止を想定

事業費	88 万円 (前年実績の約 102%)
印刷製本	22 万円 (GEDA 年報)
新聞図書	15 万円
旅費交通	17 万円
会議費	12 万円 (医療セミナー10 万を含む)
広報宣伝	10 万円 (ジェネリック医薬品の日)
諸謝金	8 万円 (同上イベント用)
通信運搬	2 万円
調査研究	2 万円

※旅費交通と調査研究は GEBS 学会の大会中止により減額。

(3) 全体として

予算は収益に見合った支出を目指すのが、それでもほぼ確定的な支出だけで概ね 31 万円、予算総額では 53 万円余り超過し、前期繰越財産 (約 162 万円) の取り崩しが必要となる。今後会員拡大、それも賛助会員の新規獲得のための取組みを強化する必要がある。

※2020 年度予算で受取会費計が 149 万円となっているのは、賛助会員 1 社の 2020 年度会費の入金が 2019 年度に計上されているためである。

議案 3 組織と運営のあり方について

会員の減少や高齢化などの現状を鑑み、役員定年制なども含めて組織とその運営のあり方について会員の意見を募る。

議案 4 次年度総会開催日

2021年5月27日（木）とする。

以上